

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2019/4/20 実施)～

参加者: 7 名

今回も 3 名の参加者の感想を掲載します。

カキドオシ

「垣通し」と記すのだそうだ。茎が弦のように伸び、垣根をすり抜けて隣地まで伸びてゆくのがその名の由来らしい。花はうす紫の小さなかわいい姿で私にとっては雑草であったが、やっぱり立派な花である。花の命名は前回の「タネツケバナ」と同じように身近な生活から生まれており、なかなか面白い。



カキドオシ (2013 年 4 月撮影)



ノミノフスマ (2015 年 4 月撮影)

- ・ よその庭で見た植物を図鑑で調べたらツボクサ(壺草又は坪草)のようで、林内でも見られるとあり、根木内での存否チェックを目論んだ。
(手持ちの根木内記録にはない) 湿地帯観察後 30 分ばかり林内を隈なく探したがそれらしいのにとんと出会わなかった。ほんとにないのか、探せないだけか。
- ・ 先月、田で観察したタネツケバナはもうすっかり頭に入っていたはずだが背丈が 3 倍位に成長し、且つ先月は気付かなかった 3 回奇数複葉に気を取られていたらこりゃ何だとなってしまっていた。こんなことの繰り返しで 4, 5 年経過している。

ノミノフスマが花をつけていた。ハコベの仲間
で、田の畔などにひそやかに咲くかわいらしい花
だ。その姿からは繊細といったことばが浮かぶ。

タガラシの花。田んぼを耕すとなぜかちゃんと
現れる。農家にとっては迷惑な植物の一つかもし
れないが、見つけるとうれしい。今回ケキツネノ
ボタンを確認しなかった。何か忘れ物をしたよう
な気がしている。



湿地の様子

- ・今日の感動は、ジャヤナギエリア南方のスギナの絨毯です。先日、田に進出してきたスギナの除去に苦労したばかりなのでこのコントラストは強烈でした。序に、群生したカキドオシが揃って開花している様も絵になっていました。
- ・オジロアシナガゾウムシを生れてはじめてそれと認識するチャンスを得た。図鑑で見るゾウムシはどれも鼻が長いが揃いも揃ったものだ。



オジロアシナガゾウムシ
(他所での写真)

塩枯

公園の入り口に 2 本のケヤキがあり、冬の間は葉が落ちた状態なのか枯れた状態なのかははっきりとしていなかった、今日は緑の柔らかい新芽が見受けられほっとした感想である。しかし全体としては、芽吹きが弱く感じられた。夏に向かって濃い緑の葉に成長することを期待したい。



ナガサキアゲハ



アリアケスミレ

5月の湿地の観察会は、、、

5月18日(土)

9:30 駐車場集合 (小雨決行) です。

遅れての参加、早めに帰宅など自由ですので、お気軽にご参加下さい。

今後は**基本的に第3土曜**に開催ということになりました。

お問い合わせは下記メールまでお願いします。

akihitoaizawa@gmail.com (相澤)